

買い物弱者対策 ～移動販売の一例(帯広市大空地区)～

実施主体:株式会社ダイイチ(帯広市)

①地域の概要

- ・ 帯広市大空地区は、高齢者が多く（高齢化45%）、2016年秋に同地区唯一のスーパーが閉店したため、車を運転できない高齢者などの買い物弱者が増加している。

②取組の目的

- ・ 高齢者など、地域の「買い物弱者」が軒先で買い物ができるよう、移動販売車による支援。
- ・ 帯広市と高齢者の見守り協定を締結し、安否確認や異常に気づいた場合の連絡体制も構築。

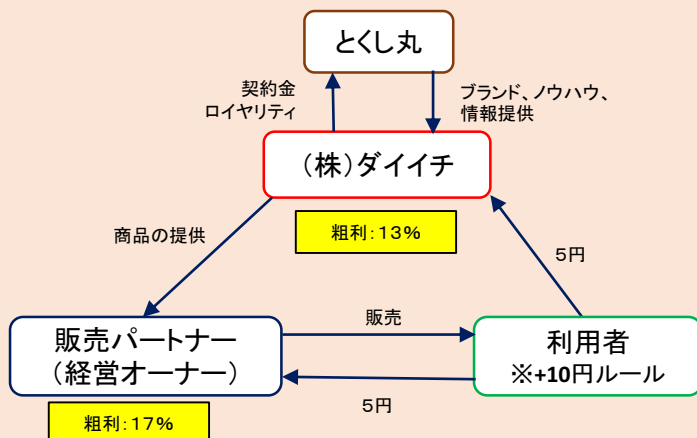
③取組内容

○(株)ダイイチの移動販売

- ・ 2017年7月に株式会社とくし丸（徳島県徳島市）とフランチャイズ契約を結び、移動販売車「とくし丸」による営業を開始。
- ・ 近隣のスーパーが閉店して、買い物弱者の多い帯広市大空地区を回る。
- ・ 軽トラックに商品約400品目を積み込み、1日に約20箇所を巡回、40人ほどが利用する。

<スキーム(個人事業主の場合)>

- ・ (株)とくし丸が車両やノウハウを提供、(株)ダイイチが商品を提供し、販売は独立した販売パートナー(経営オーナー)が行う
- ・ 移動販売車の営業は週1～2回で、決まったコースを巡回
- ・ 提携スーパーの取扱商品であれば、希望商品の依頼が可能



※+10円ルール
商品1点につき、店頭価格に10円上乗せして販売。

(参考URL : <https://www.daiichi-d.co.jp/tokushimaru>)

④実績・効果

- ・ 2018年11月現在、帯広市内で2台稼働。
- ・ 社会福祉事業の一環として実施。
- ・ 利用者からは商品を直接選んで購入できると好評を得ている。
- ・ 高齢者の見守りや地域コミュニティの場としても寄与している。

⑤苦労・課題

- 販売パートナーの確保
 - ・ 収入の安定化
 - ・ 冬期の健康管理
 - ⇒事業拡大したいが、人員不足
- 冬季間の商品管理など
 - ・ 生鮮品の凍結防止
 - ⇒販売ノウハウの向上

⑥活用した制度等

本取組のお問い合わせ先

株式会社ダイイチ とくし丸事業部
電話:090-8899-1094